

01



02

Photo:X L Package 2WD(F) Body Color:ソウルレッドクリスタルメタリック

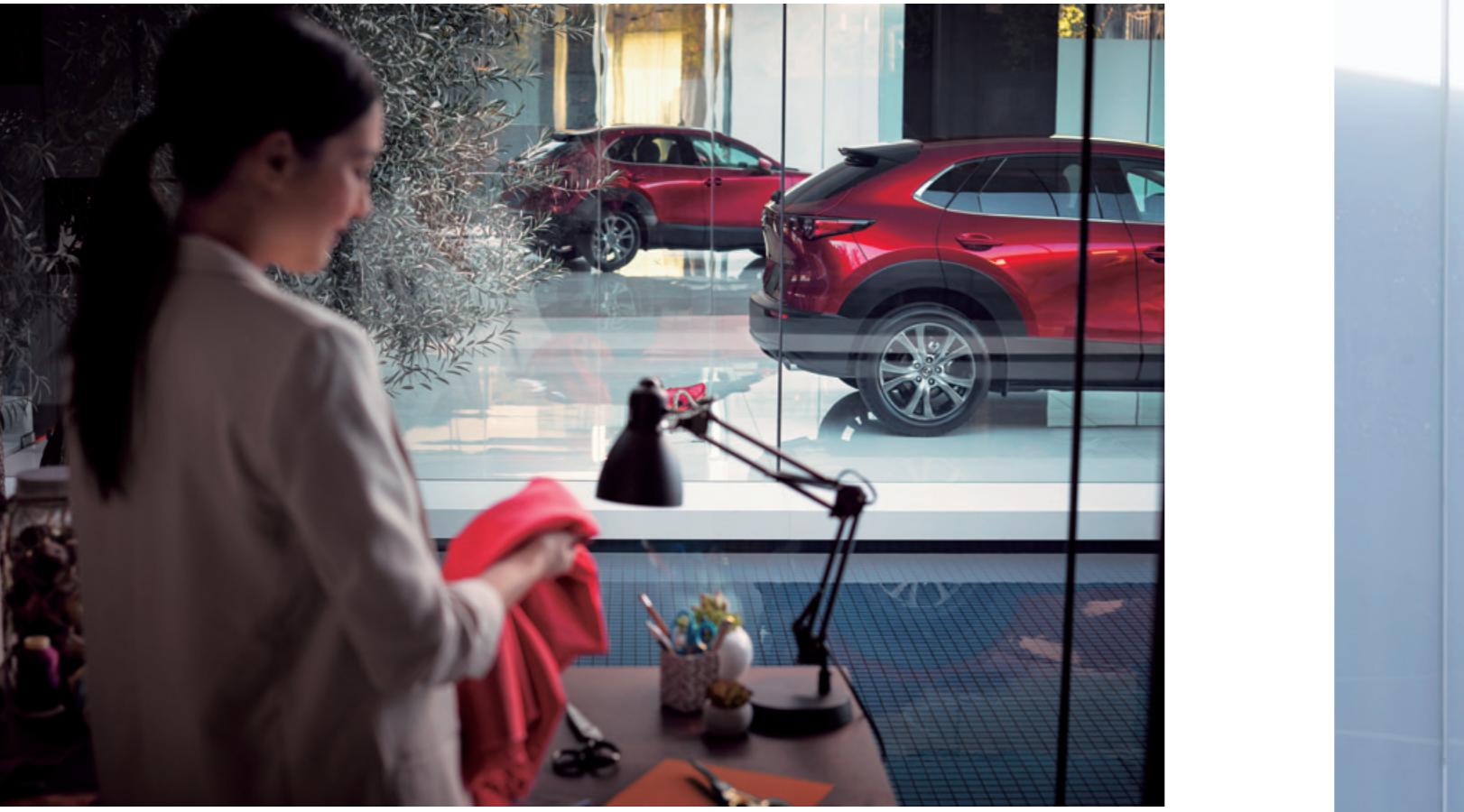




DRIVE WITH PEACE OF MIND







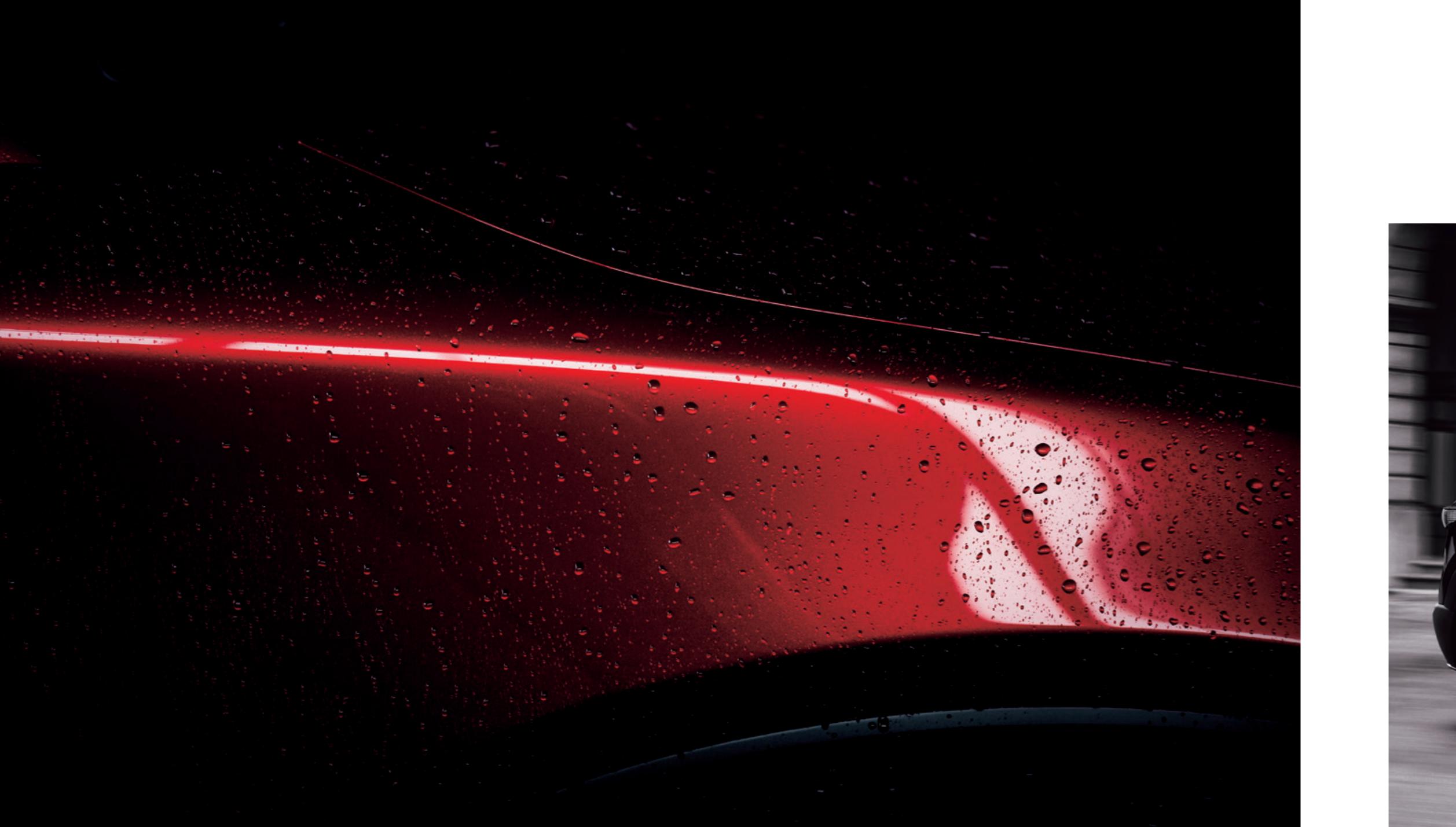
LIFE WITH CREATIVITY





A PLEASANT TIME FOR ALL





THE FREEDOM TO GO ANYWHERE



Photo:(P13-14)X L Package 2WD(FF) Body Color:ソウルレッドクリスタルメタリック

CREATE A RADIANT LIFE

Broaden life experiences



CX-30

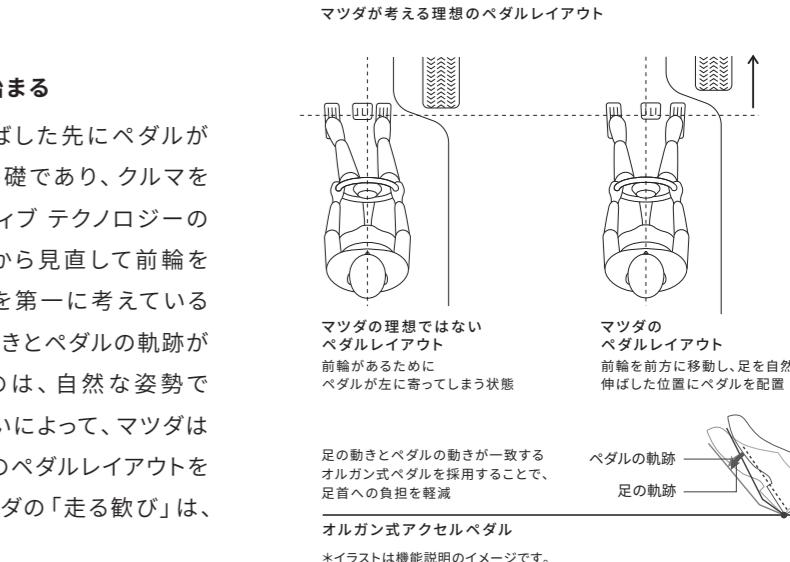


「まっすぐ座れる。あたりまえのことだと思っていませんか。」

DRIVING POSITION

すべての「走る歓び」は、ドライバーの足元から始まる

まっすぐな姿勢でシートに座り、自然に足を伸ばした先にペダルがあること。これが、マツダが理想とする走りの基礎であり、クルマを意のままに操る楽しさの基本です。スカイアクティブ テクノロジーの開発とともに、クルマの設計をまったくのゼロから見直して前輪を前方に移動させたのは、まっすぐに座れることを第一に考えているからこそ。そしてアクセルペダルに、人間の足の動きとペダルの軌跡がずれにくいオルガン式ペダルを採用しているのは、自然な姿勢で運転できることを追求しているからこそ。この想いによって、マツダはクルマの大小に関わらず、すべてのモデルで理想のペダルレイアウトを実現しています。正しくペダルを踏めること。マツダの「走る歓び」は、そこから生まれているのです。



*画像はイメージです。

「情報を整理すると生まれる、心の余裕。」

HUMAN MACHINE INTERFACE

乗る人の安心を支える、人間中心で磨き上げたシンプルな情報レイアウト
さまざまな装備や技术の进化によって“クルマでできること”が増える一方で、運転中にドライバーが処理しなければならない情报量も増えてしまします。そこでマツダは、ドライバーが多様な情报を適切に扱いながらも、安心して安全に運転できる环境づくりに注力しています。そのために人間中心の考え方に基づき、絶えず確認が必要な情报／クルマの状态を确认する情报／快適・利便性のための情报の3種類に情报を整理。そのうえで、それぞれを3つの表示デバイスに最適に配分したシンプルな情报レイアウトをつくり上げました。ドライバーが心に余裕を持って、しっかりと運転に集中できるコクピットであること。それが助手席や後席からもすっきりと前を見通せる空间の起点となり、乗る人全員が安心してドライブを楽しめることにつながると、マツダは考えています。



*画像は点灯状態を演出しています。 *モニター画面はハメ込み合成です。





「自分の足で歩いているかのよう。」

SKYACTIV-VEHICLE ARCHITECTURE

クルマとの心地よい一体感を実現した車両構造技術

移動における人間の理想状態とは何か。マツダが導き出した答えは、「歩行」でした。例えば人間は歩くとき、段差を越えたりしても特に揺れを感じることなく進むことができます。それは、人の体には自然にバランスを取ろうとする能力が備わっているから。マツダは、この能力をクルマづくりに応用しようと考えました。そうして生まれたのが、究極の「人馬一体」を目指した車両構造技術、SKYACTIV-VEHICLE ARCHITECTUREです。座れば骨盤が立ち、背骨が自然なS字を描くフロント&リアシート。路面からの力を遅れなく、滑らかに伝えるボディとシャシー。これらが一体となって機能し、後席も含めたすべての乗員が無意識に体のバランスを取りながら、クルマの動きをまるで自分の体のように感じることができる心地よい走りを提供します。



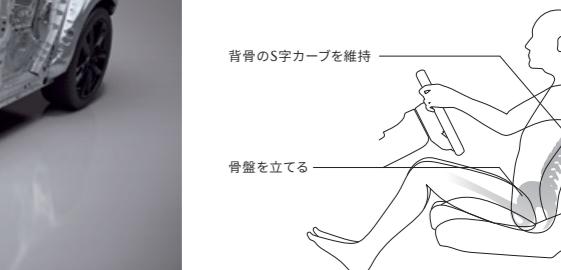
*画像はイメージです。

骨盤を立て、自然なS字カーブを維持するためのシート構造

背骨のS字カーブを維持

骨盤を立てる

*イラストは機能説明のイメージです。



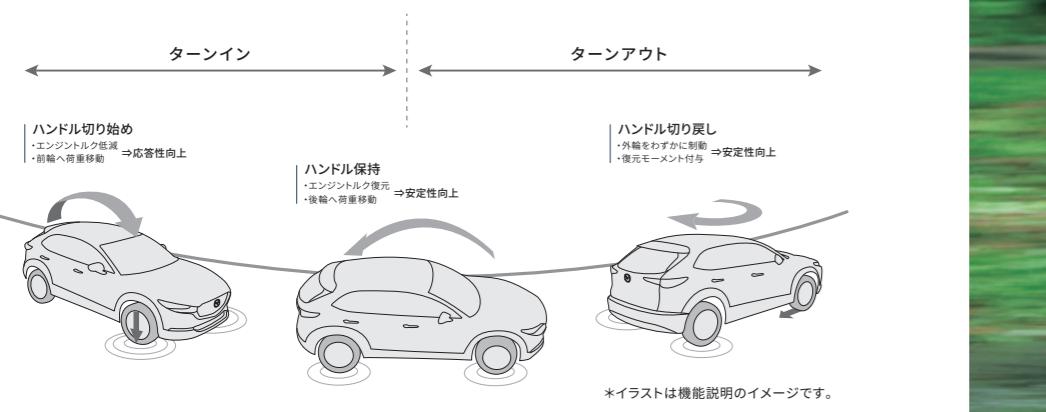
「いかなる路面に出会っても、思いのままの楽しい走りを。」

AWD × G-VECTORING CONTROL

思いのままの走りを支え、世界を広げるテクノロジー

タイヤの接地状態を最適化してスムーズで効率的な車両挙動を実現するG-ベクトリング コントロール(GVC)。進化したG-ベクトリング コントロールプラス(GVC Plus)では、ドライバーの素早いハンドル操作に対する車両の追従性を高めるとともに挙動の収束性をサポートします。これにより、緊急時の危険回避能力を向上させるとともに、高速走行時の車線変更や、雪道など滑りやすい路面環境においても、より安心感のある走りを提供します。さらにCX-30のi-ACTIV AWDは、GVCと協調して車両運動性能を向上させる制御を採用することで、ドライバーの積極的な運転操作にも応える意のままのコントロール性を向上させました。また、悪路走破性を向上させる新開発のオフロード・トラクション・アシストも採用しています。いつでも、どこでも、すべての乗員が気持ちよく走りを楽しめるように。i-ACTIV AWD×GVCが、クルマとの世界をもっともっと広げていきます。

*G-Vectoring Control:車両の加速度(G)を方向付ける(Vectoring)制御(Control)



i-ACTIV AWD

タイヤの動きやGセンサー等の情報から車両の走行状態をリアルタイムに検知し、路面状況やタイヤの荷重状態の変化を素早く予測。状況に応じて前後輪へのトルク配分を自動的に最適化する先進のAWDシステムです。雨や雪などの滑りやすい路面ではもちろん、ドライ路面においても4輪のタイヤの力を効率的に引き出せるように適切にトルクを配分し、スムーズで安定した走りを提供します。

<4WD全車>

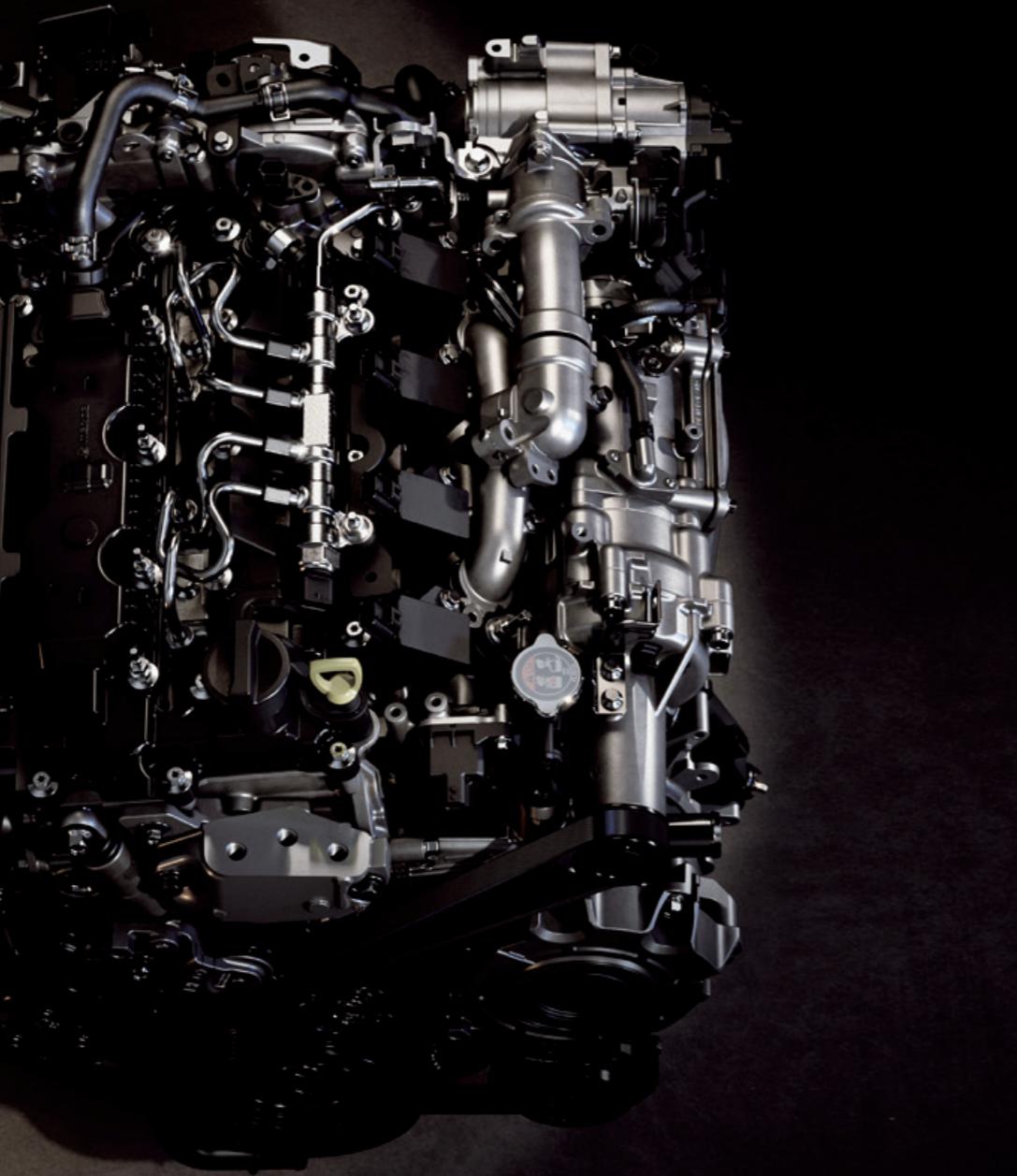
オフロード・トラクション・アシスト

悪路からの脱出が困難な状況においても、オフロード・トラクション・アシストを作動させることで、AWDとトラクション・コントロール・システム(TCS)が協調してタイヤの空転を抑制。路面に接地しているタイヤへ適切に駆動力を分配し、トラクション性能を最大限に引き出します。また、ドライバーがまるで直接触れているかのように直感的に路面状況を把握することができるフィードバック特性にチューニングすることで、ドライバー自身がタイヤのスリップを緻密にコントロールでき、結果的に無駄なエネルギーを使うことなく悪路を走破することが可能。悪路においても人馬一体のコントロール性を提供することで、スタックの回避をサポートします。さらにヒル・ローンチ・アシスト(HLA)とも協調し、悪路においても登坂時の車両の後退を抑制。エンジンやシャシーをはじめとするスカイアクティブ テクノロジーが從来から持つ応答性のよさと相まって、悪路を含めたさまざまな路面環境においてドライバーの意のままの走りを実現します。

<4WD全車>

「エンジンにはできることが、まだまだある。」

SKYACTIV ENGINE



e-SKYACTIV X

世界初^{*1}の革新的な燃焼制御技術「SPCCI^{*2}（火花点火制御圧縮着火）」を採用した、マツダの新世代ガソリンエンジンです。力強いトルク、リニアで正確なレスポンス、高回転までスムーズに伸びていく爽快な加速感など、ディーゼルエンジンとガソリンエンジンのメリットを兼ね備えました。減速エネルギーを電力として蓄え、発進加速時にモーターで駆動をアシストするマイルドハイブリッドシステムM HYBRIDも搭載し、優れた環境性能とともに、マツダらしい走りの気持ちよさをピュアに楽しめます。

*1 2017年8月 マツダ調べ *2 SPCCI:Spark Controlled Compression Ignition

e-SKYACTIV G

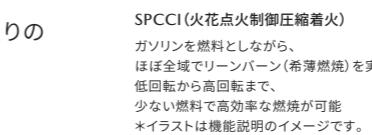
心地よい走りを実現する直噴ガソリンエンジンSKYACTIV-G 2.0にマイルドハイブリッドシステムM HYBRIDを組み合わせたパワートレイン、それがe-SKYACTIV Gです。M HYBRIDはモーター（ベルトISG^{*3}方式）と24Vリチウムイオン電池、DC-DCコンバーター、回生協調ブレーキからなるシステム。減速エネルギーを回生して電力として活用するほか、発進加速時のモーターによる駆動アシストなどによって、走り・燃費・環境性能をより高いレベルで実現します。乗れば乗るほど、毎日の運転が楽しみになる。e-SKYACTIV Gは、そんなドライビング体験をお届けします。

*3 ISG:Integrated Starter Generator

e-SKYACTIV X

SKYACTIV-D

実用燃費と環境性能の向上を追求しつつ、ディーゼルならではの力強さ、ロングツーリングを快適に楽しめる静肅性も実現したクリーンディーゼルエンジン。1.8Lの排気量による上質で余裕のある力強い走りとともに、乗る人すべての欲びと社会の信頼に応える優れた環境性能を目指しました。



e-SKYACTIV G 2.0



SKYACTIV-D 1.8

「たくさん積んで、ゆったりくつろげる。
暮らしをもっとアクティブにする自由な空間です。」

PACKAGE × DESIGN

使いやすさと美しさを両立させる、マツダのクルマづくり

マツダのクルマづくりでは、前席、後席、そしてラゲッジルームに至るまで徹底して使う人が気持ちよさを感じられることを追求しています。CX-30では、大きな荷物や重たい荷物でもスムーズに積み降ろしができるよう、ラゲッジルームの開口部の広さや地上からの高さを人間の体の特性に基づいて綿密に設計。そのうえで、日々の買い物や大人4人での小旅行など、幅広いニーズに応えられる十分な容量を確保しました。そして荷室を広々とつくり込みながらも、後席には大人がゆったりと過ごせる空間を持たせています。さらには、快適性や使い勝手のよさとは背反しがちなデザインの美しさも妥協なく研ぎ澄ました。クルマと過ごす時間を豊かなものとするために、使いやすさと美しさを両立させる。それが、マツダのこだわりです。



Photo:(P27-28)X L Package 2WD (FF) Body Color:ソウルレッドクリスタルメタリック

*荷物の形状によっては積載できない場合があります。 *小物類は車両本体に含まれません。 *走行中は必ずシートベルトを装着し、荷物が移動したり運転の支障にならないようしっかりと固定または収納してください。走行中に荷物が移動・崩れるなど、けがや事故につながるおそれがあります。



「聞こえてくるのは、心地よくデザインされた音。」

MAZDA HARMONIC ACOUSTICS

*画像はイメージです。

乗る人すべてが気持ちよく過ごせる、上質な音響空間

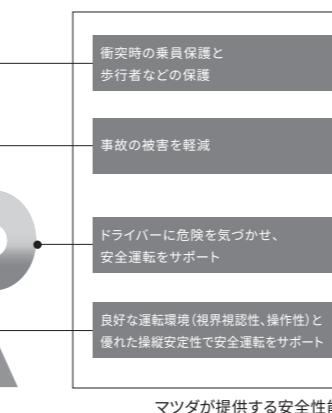
ただ静かだけでなく、人間が心地よさを感じられる。それが、マツダの考える静謐性です。のために、不快な騒音を抑えるとともに、音が耳に届くまでの経路や変化の仕方までをも徹底的にコントロール。このクルマに乗る人すべてが、ドアを閉めた瞬間、そして走るたびに、気持ちがすっきりと研ぎ澄まされる感覚を味わえます。そして音響空間としてのポテンシャルを高めたうえで、音の伝わり方と人間特性に基づいて磨き上げたオーディオシステム、「マツダ・ハーモニック・アコースティックス」を搭載。高音質でクリアなサウンドを、豊かな臨場感とともにお届けします。

乗る人すべての安心と安全、そして楽しさのために

目前に迫った事故を避けるための被害軽減ブレーキは、今や、どんな自動車にも不可欠な安全技術になりました。しかしマツダは、それだけで満足はしません。危険な状況になってからそれに対処するのではなく、事故や危険につながる、もっとも前段階から、安全について考え、設計する。先進安全技術のみならず、ドライビングポジション、情報レイアウトや視界などの運転環境、そして走行性能も、その考えに基づいて造り込んでいます。すべては、ドライバーが安心して運転できるように。クルマに乗る人全員が、「走る歓び」を思う存分満喫できるように。それが“MAZDA PROACTIVE SAFETY”。マツダの安全に対する独自の考え方です。

マツダの安全思想

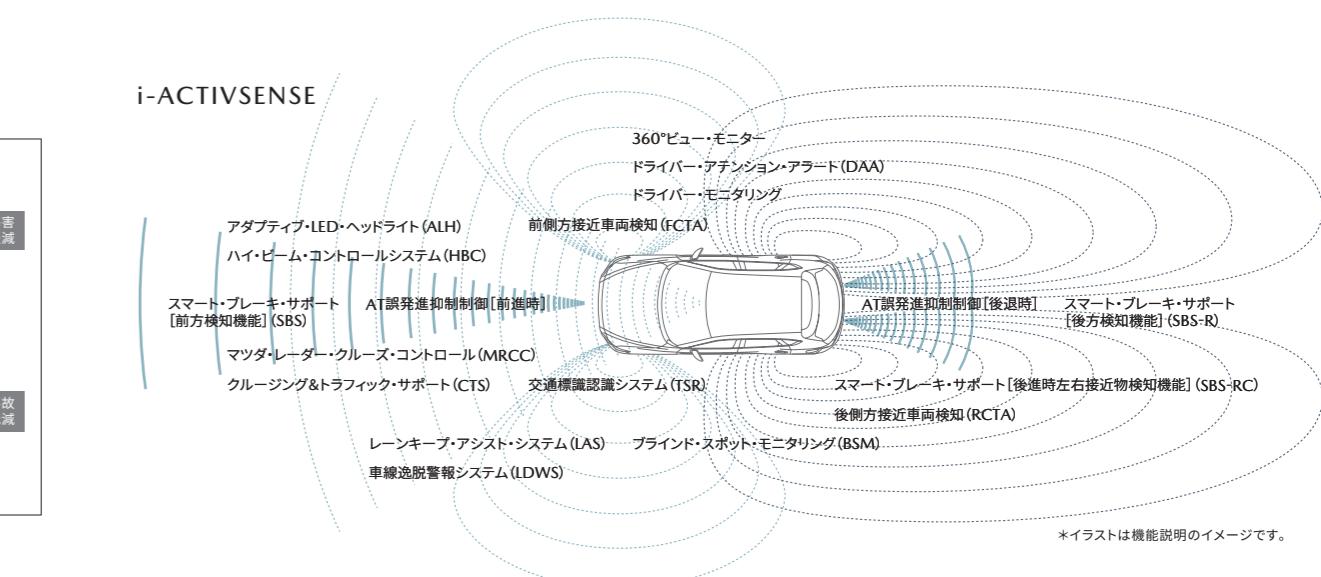
MAZDA PROACTIVE SAFETY



「ドライバーが主役。

それが乗る人すべての安心につながります。」

MAZDA PROACTIVE SAFETY





「あなたが選ぶ特別な一台を。」

SIGNATURE STYLE

マツダデザインとカスタマイズの価値の両立に挑戦し、
SUVらしい力強さと上質なスポーティさを兼ね備えた、
CX-30の世界観をさらに広げる特別なスタイルです。

